

「道の指定管理者選び不透明」

NPO理事「苦情審査申し立て」

道が「北海道立市民活動促進センター」の指定管理者に、総合評価値で1位だった「北海道NPO（非営利団体）サポートセンター」を選ばず、これまで管理を委託していた「財団法人北海道地域活動振興協会」に決めたのは問題だとして、特定非営利活動法人NPO推進北海道会議の長崎昭子理事が27日、道苦情審査委員に審査を申し立てた。

促進センターの指定管理者には、同サポートセンターと振興協会の2団体が応募。選定委員会の総合評価値は、サポートセンターが72.50点で、協会は72.15点だった。

促進センターの非常勤職員も努める長崎理事ら4人は今月3日、道に対し、指定管理者の選定の再審査を文書で要望。道は21日付で、「総合評価はサポートセンターが高かったが僅差で、2回目の選定委で振興協会を支持する委員が過半数だった」などと回答した。回答に対し、長崎理事は「1回目の選定委ではサポートセンターを支持する委員が多数だったのに、なぜ2回目を開く必要があるのか」と指摘。道の回答は不透明だとして、道苦情審査委員に審査を申し立てた。